

電子ポートフォリオの組織的取り組みに関する全国調査 (利用状況の概要)

金子徹哉^{†1} 望月雅光^{†2}

昨今、幾つかの大学において電子ポートフォリオシステムが試みられているが、それぞれの大学で抱えている問題や学生の気風が異なるため、標準化されたポートフォリオは存在していない。そこで著者らは全国の大学、短大、高等専門学校合計 1,217 校に対し、「電子ポートフォリオの組織的取り組みに関する調査」を行った。本発表では 200 校以上から寄せられた調査票から、ポートフォリオを組織的に運用している事例を報告する。

National Survey on Incorporating E-portfolio System at Post-Secondary Institutions

TETSUYA KANEKO^{†1} MASAMITSU MOCHIZUKI^{†2}

During recent years, e-portfolio system has been utilized at several post-secondary institutions in Japan. Due to issues with which each institution faces and different students' characteristics, however, a "standardized" e-portfolio system has not been developed. To start figuring out what are needed for developing a standardized e-portfolio structure, the authors conducted a survey on "the organizational commitment to an e-portfolio." The survey was sent out to more than 1,200 post-secondary institutions, including universities; junior colleges; and colleges of technology. Among them, more than 300 institutions returned the survey as of September 30th, 2012. In this presentation, we will report the summary of aggregate data which you might find useful.

1. はじめに

幾つかの大学において、電子ポートフォリオシステムが試みられているが、それぞれ取り扱う内容や目的が異なっている。そのような状況を生む理由は、それぞれの大学で抱えている問題や学生の気風が異なるためである。また、標準的なシステムも存在していない。

著者らが勤務する創価大学（以下、本学）では、2008 年度より独自の電子ポートフォリオシステムの試作を行い、2009 年度に経済学部、経営学部、教育学部において試行導入を行った[1]。そして、2010 年度より全学導入を行い、初年次教育、キャリア教育、語学教育で活用している。さらに 2011 年度より、学習状況を記録する学習ポートフォリオを拡張し、教職履修カルテの自動生成機能を追加した[2]。

本学のポートフォリオは初年次教育、キャリア教育、および教職科目において特に成果をあげている。初年次教育では目標設定とタイムマネジメントを重点的に指導し、第 1 セメスター終了時でのアンケートでは学生生活の 4 年間で俯瞰できた、という意見を多数得ている。キャリア教育では本学独自の CSS[a]、RSS[b]制度と共に学生の自主的なキャリア活動の促進に寄与している。そして教職科目では

学習ポートフォリオの記録が教職履修カルテの生成条件となるため、教職員の事務的負担を軽減し、同時に学生自身の学習記録、振り返りを強制させ、将来教員を目指す学生の資質向上を図っている。

本学の電子ポートフォリオにおいては本学が抱える問題や学生の気風に合わせて構成されており、2008 年度の試作から数々の改変を重ねている。これは、ポートフォリオの標準的なシステムが存在せず、ポートフォリオを利用した分析、指導モデルなども確立されていないためである。

本稿では、調査締切日（2012 年 9 月 30 日）時点での集計結果のうち、主なものを紹介する。また、発表では各項目の関連性の分析結果を紹介する予定である。

2. 調査概要

2.1 調査対象

ポートフォリオに関する研究は多く存在するが、組織的に導入されたポートフォリオはその主管部署が事務担当である場合など、研究として発表されるケースは少ない。本調査では全国の大学、短大、高等専門学校の「ポートフォリオ担当者」および「FD 担当者」に対して調査を実施した。また、平成 20 年 12 月 24 日の中教審答申を鑑み、平成 21 年度に採択された「大学教育・学生支援推進事業 (GP)」の担当者、および「ポートフォリオ部会」を持つ大学 e ラーニング協議会 (UeLA) の加盟校の担当者に対しても、同様の内容で実施した。対象および送付数を表 1 に示す。

^{†1} 創価大学教育・学習活動支援センター
Soka University Center for Excellence in Teaching and Learning.

^{†2} 創価大学
Soka University

a) CSS: Career Support Staff, 1, 2 年生の進路相談をサポートする 4 年生の学生ボランティア

b) RSS: Recruit Support Staff, 3 年生の就職活動をサポートする 4 年生の学生ボランティア

表 1 対象および発送数

全発送数	1575 件
全国大学, 短大, 高等専門学校	1217 校
(内, 返送数)	5 件
H21GP 採択校	332 校
UeLA 加盟校	31 校

2.2 調査方法および調査期間

回答方法は, 回答率の向上のため, 容易に回答できる PC, スマートフォン, 携帯電話に対応した Web フォーム, および FAX のみとした。

調査期間は各教育機関の業務増加に配慮し, 一般的に夏休み期間とされる 8 月~9 月とした。また, 一部の対象 (H21GP 採択校および UeLA 加盟校) については, 9 月中旬までに回答のなかった教育機関に限定して送付した。

表 2 に回答率を示す。ポートフォリオは一つの教育機関でも目的別に複数実施されている場合があったり, 学部ごとの取り組みであったりするため, 1 つの大学から複数の回答を得た場合がある。

表 3 回答率

回答数/全発送数	22.0%
回答した教育機関数/教育機関数	26.7%
回答数/教育機関数	28.5%

3. 集計結果

集計結果のうち, 主な項目を記す。

3.1 ポートフォリオの組織的運用の有無, およびポートフォリオの電子化について

(1) 【設問】電子ポートフォリオシステムを組織的に運用していますか (いましたか) ? <中略> また, 運用していた期間がある場合は概ねの期間 (西暦) をご記入ください。【択一回答・記入】

過半数が「運用していない」と回答したが, 運用中および検討中を含め, 概ね半数に分かれた。また, 運用開始年は中教審答申で学習ポートフォリオが提示された翌々年の 2010 年に急激に増加している事がうかがえる。なお, 4 校が現在運用を中止している。

表 4 電子ポートフォリオの運用

a.運用中	83
b.運用していたが現在は行っていない	4
c.試験運用中	17
d.準備・検討中	46
e.していない	193

表 5 (電子ポートフォリオ) 運用開始年

~2002 年	0
2003~2007 年	7
2008 年	6
2009 年	12
2010 年	28
2011 年	31
2012 年	14

(2) 【設問】紙媒体 (電子媒体との併用を含む) などを使用したポートフォリオを組織的に運用していますか (いましたか) ? <中略> また, 運用していた期間がある場合は概ねの期間 (西暦) をご記入ください。【択一回答・記入】紙媒体によるポートフォリオの運用は, 回答数の約 4 割にとどまった。現在, 電子ポートフォリオの運用との関連性の分析を進めている。また, 運用開始年は前設問と同様に 2010 年に急激に増加している事がうかがえる。

表 6 紙媒体のポートフォリオの運用

a.運用中	87
b.運用していたが現在は行っていない	9
c.試験運用中	11
d.準備・検討中	24
e.していない	214

表 7 (紙媒体ポートフォリオ) 運用開始年

~2002 年	3
2003~2007 年	12
2008 年	11
2009 年	14
2010 年	34
2011 年	19
2012 年	8

(3) 【設問】(前設問で「運用」または「検討」を選択した場合のみ) どのようなポートフォリオを運用していますか (いましたか) ? 【択一回答】

紙媒体を使用しているケースは 54.7%, 電子データを使用しているケースは 57.1% と, 概ね同率となった。また, 「その他」を選択した教育機関の多くは, 学部や対象 (学生, 教員など) によって使い分けているとのことだった。

表 8 紙媒体と電子データのうち, 主に運用していたもの

a.紙媒体を主として記入・収集するもの	60
b.電子データを主として記入・蓄積するもの	64
c.紙媒体と電子データの両方を使用するもの	28
d.その他	9

(4) 【設問】(学生向け, 教員向けなど) どのようなポートフォリオを運用していますか(いましたか)? 【複数回答】

教員向けポートフォリオを組織的に導入している事例は非常に少ないことが分かる。また、「その他」を選択した事例としては、入学前の記録や奨学金に係る記録、また専門分野での記録など、特徴的なものが見受けられた。

表 9 どのようなポートフォリオを運用していたか

a.学生用ポートフォリオ(学習活動, キャリア, 学生生活に関する事など)	155
b.教員用ポートフォリオ(ティーチング・ポートフォリオなど)	19
c.その他のポートフォリオ	8

3.2 学生向けポートフォリオの運用状況

(1) 【設問】どのような活動に対してポートフォリオを作成させていますか?

学習活動に関するものが突出しているが、それに次ぐキャリアに関するもの、教職課程に関するもの、学生生活に関するものも拮抗している。多くの教育機関において、学習活動だけでなく様々なポートフォリオを同時に運用している事がうかがえる。

表 10 どのような活動に対してポートフォリオを作成しているか

学習活動に関するもの	155
キャリアに関するもの	77
教職課程に関するもの	68
学生生活に関するもの	65
その他	22

(2) 【設問】ポートフォリオの利用者数をご記入ください。

教育機関の規模により異なるが、ポートフォリオの導入には多大なリソースが必要であることがうかがえる。

表 11 (学生向け) ポートフォリオの利用者数

~50名	11
51~100名	16
101~500名	51
501~1000名	20
1001~2500名	20
2501~5000名	14
5000名~	3

(3) 【設問】ポートフォリオに対する学生の反応として当

てはまるものを選択してください。

80%以上の回答が好評または概ね好評と回答した。また、不評と回答した教育機関にも目立った共通性は見られないため、追跡調査を行う予定である。

表 12 ポートフォリオに対する学生の反応

a.極めて好評	3
b.概ね好評	105
c.概ね不評	19
d.極めて不評	0

3.3 教員向けポートフォリオの運用状況

(1) 【設問】どのようなポートフォリオを運用していますか?

自由記述のため、本稿では省略する。

(2) 【設問】ポートフォリオの利用者数をご記入ください。

教員用ポートフォリオでは、全学、または学科と回答する場合が多く見受けられた。

表 13 (教員向け) ポートフォリオの利用者数

1~10名	4
11~50名	9
51~100名	2
101~200名	1
200名~	1

(3) 【設問】ポートフォリオに対する教員の反応として当てはまるものを選択してください。

学生用のポートフォリオと同様に、教員用ポートフォリオでも80%以上が概ね好評と回答した。

表 14 ポートフォリオに対する教員の反応

a.極めて好評	0
b.概ね好評	10
c.概ね不評	2
d.極めて不評	0

4. おわりに

本稿では、電子ポートフォリオの組織的取り組みに関する全国調査した結果のうち、利用状況について集計し、その概要をまとめた。ポートフォリオの導入について注目されているにもかかわらず、約27%の教育機関での導入にとどまっていた。導入している教育機関については、ポートフォリオの導入に対して様々な工夫を凝らし、試行錯誤を重ねていることが分かった。

謝辞 本調査は、平成 23 年度～25 年度 科学研究費補助金（基盤研究 C）－（課題番号 23501116）の助成を受けて実施しているものである。

参考文献

- 1) 望月雅光, 高木正則, 勅使河原可海: 学生生活を記録する電子ポートフォリオシステムの設計, 創価経営論集, 第 33 卷, 第 1 号, pp.73-81 (2009).
- 2) 金子徹哉, 望月雅光: 創価大学 e ポートフォリオシステムの現状と教職ポートフォリオへの対応, 大学 e ラーニング協議会(熊本大学), pp.61-64 (2012-3-16).